



日本プライマリ・ケア連合学会  
近畿ブロック支部 活動報告

発行人：外山 学  
事務局 〒550-0001 大阪府大阪市西区  
土佐堀1-4-8 日栄ビル703A  
あゆみコーポレーション内  
Tel. 06-6441-4918 Fax. 06-6441-2055  
E-mail jpca@ayoume.jp  
HP square.umin.ac.jp/pc-kinki/

ニュースレター No.13 (2015.12)

【支部報告】第1回京都支部総会・学術講演会(9月27日)

水野 融 (岡田医院/京都市右京区)

京都大学医学部において、午前中は若手のWS、午後から総会・講演会、さらに時計台のレストラン、ラ・トゥールで懇親会を開催した。京都は御存じのように近畿地方会発祥の地である。29年前の話だ。しかし、現在は支部活動がなく、ゼロからの出発であった。

午前中は福知山市民病院川島篤志先生の「身体所見の小テスト」、午後は京都大学医学部資料館(旧解剖学講堂)において、関透先生の司会進行で、まず小泉俊三先生の現在の学会の紹介があり丸山泉理事長のビデオレターも披露された。続いて京大福原俊一先生「健康長寿社会はプライマリケア医が担う」、京都府立医大山脇正永先生「プライマリケア医のキャリアトラック」の二つの基調講演、最後は家庭医療後期研修プログラムから多施設研修医による活動報告発表と高木幸夫先生と田原正夫先生による総括と全体討論が行われた。29年前の先人たちが、これを見てどう思うだろう、様々の変遷は語りつくせぬ歴史である。



子供さん同伴で参加して下さった女性があった。その母子の可愛い写真を掲載させていただく。この子供たちがまた29年後に何かしてくれるに違いない。そのためにも我々が良きものを創造し残していかなければならない。



【地方会速報】第29回近畿地方会(11月29日)

第29回近畿地方会が、古家仁大会長(奈良県立医科大学医師会会長)の下、奈良県社会福祉総合センターで開催されました。尚、昼には全体代議員会が、夕刻には府県別代議員会が併せて開催されました。詳細は、来年3月発行予定の次号で報告します。



近畿ブロック支部(KPCA:Kinki Primary Care Association)について

近畿ブロック(滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山の2府4県)に所属する学会会員で構成され、ブロック代議員会を最高議決機関としています。ブロック支部会費は必要ありません。日常的な運営は幹事会が行っています。

- ・ 支部長 : 外山学(学会理事)
- ・ 副支部長 : 雨森正記(学会理事)、大島民旗(学会理事)、戸田和夫
- ・ 幹事 : 福原俊一(学会理事)、朝倉健太郎、足立光平、石丸裕康、梶山泰男、木戸友幸、小泉俊三、関透、空地顕一、高木幸夫、武田以知郎、西尾健治、畑伸弘、羽野卓三、松井善典、松村理司、水野融、三ツ浪健一、森村美奈、吉本清巳
- ・ 監事 : 大島久明、澤木政光



**[勉強会報告] 第31回プライマリ・ケアを語ろう・おおさか勉強会 (8月23日)**

外山 学 (益田診療所/大阪府門真市)

学会の大阪地区勉強会としての歴史を持つ本勉強会が、大阪大学中之島センターで開催された。今回は「怒りの感情と上手につきあう～アンガーマネジメント」と題し、薬剤師で一般社団法人日本アンガーマネジメント協会の公認シニアファシリテーターの資格を持つ高橋直子氏(近畿大学薬学部)を講師にお招きした。



怒りは、人間の自然な感情の1つで、

なくすことは不可能である。怒ることで伝わることもある一方で、怒りに振り回された状態では冷静な判断ができず、仕事などのパフォーマンスが低下するばかりか、人間関係の悪化を引きおこしかねない。このような怒りは周りへも連鎖して、社会や家庭を不幸にしていく。「怒る必要のあることは上手に怒ることができ、怒る必要のないことは怒らないようになる」方法がアンガーマネジメントである。怒りの感情のピークは長くても6秒なので、6秒間待つ方法を持つこと【衝動コントロール】が大切とのことである。

続いて、1)この1週間で怒った出来事の共有、2)怒らせるものの正体のひとつは、〇〇は〇〇であるべき、という“べき”であり、自分の“べき”と他人の“べき”の違いに気付いてすり合わせを考えること【思考コントロール】を趣旨としたグループワークを行った。

さらに、「変えられる(コントロール可能)もの」と「変えられない(同不可能)もの」を区別し、重要度を評価するやり方【行動コントロール】を学んだ。

恒例の、管理栄養士とホテルシェフによる健康ランチでは「リンの過剰摂取を起こさない、効果的なカルシウム摂取」をテーマとした。前々回勉強会メニューでの、主菜の食材の鮭を鶏肉に交換するだけで、カルシウム：リン比が大きく改善されることが紹介された。

**[勉強会報告] 第17回プライマリ・ケアのための家族アプローチワークショップ (9月22日)**

竹中 裕昭 (竹中医院/大阪市浪速区)



例年、開催しているプライマリ・ケアのための家族アプローチワークショップは、家族と接するプライマリ・ケアスタッフの技能や態度について、身体を動かしながら考えるワークショップです。今回は「効果的な退院支援」をテーマとし、テキストを刷新。独自に開発した家族面接の「SEEMSモデル」(家族面接は Social stage、Explanatory and Express emotion stage、Making options stage、Summarize stage から成るといふモデル)、災害現場での情報確認のための「NASA-3P」(災害現場では Name、Age、Sex、Address、Phone number、Process of injury、Place of injury を確認する)を初公開し、家族看護学で開発された「6つの質問」を導入するなど様々な試みを行いました。そして、医師の家族面接ロールプレイだけでなく、薬剤師の家族への接し方のロールプレイも行いました。

また、「キーパーソンの他に、黒幕(Wirepuller)、遠くの親戚(いわゆる California daughter)がいないかどうかを確認する」「患者・家族の理不尽な怒りの裏には『退院は嫌』という思いが隠されている」など、今回も参加者から貴重な御意見をいただきました。

次回以降も、プライマリ・ケアにより役立つ方法を求めて開催していきたいと考えています。

**【支部報告】 大阪府支部家庭医療後期研修プログラム交流会 (9月26日)**

大島 民旗 (西淀病院/大阪市西淀川区)

大阪市立大学において、第1回「大阪府支部家庭医療後期研修プログラム交流会」を開催しました。参加者は39名(うち研修医2名、専攻医13名)と結構にぎやかな集まりになりました。

運営委員の中で後期研修プログラムの運営が一番困っているのは、ポートフォリオの作成支援であるという認識で一致したため、大阪医科大学の鈴木富雄先生から「ポ



ートフォリオ作成指導のコツ」と題したレクチャーを冒頭にお願ひし、ポートフォリオがあるからチャンスをつかめること、心の動きを文章にすることが大事といったことが話されました。その後提出前のポートフォリオを市立池田病院と大阪市立大学の専攻医の先生にプレゼンしていただき、会場全体で質疑や助言を行いました。専攻医の先生からは「むちゃくちゃ勉強になりました」とポジティブな評価をいただきました。

後半は家庭医療後期研修をうまく運営するために現状とあり方についてのグループディスカッションを行い、今後もこうした取り組みを定期的に行うことを確認し、会を終了しました。

**【支部報告】 第1回在宅医療多職種キャリアアップ研究会 (10月25日)**

佐々木 隆史 (こうせい駅前診療所/滋賀県湖南市)

滋賀支部では、学会後期研修医の指導や指導医FDに加え、在宅医療のボトムアップを支える多職種教育・キャリアアップをサポートしています。在宅医療多職種研究会と称して、県全域から、医学生を含め看護師やケアマネージャー、行政など10名の多職種の方に委員として携わってもらっています。事前協議を重ね、第1回研究会を、10月25日(日)、東近江総合医療センターで実施しました。参加者は31名、病院の先生も含め多くの職種の方に参加いただきました。

第1部では雨森支部長より、この会の成り立ちや役割などをご説明いただき、第2部の研究会の講演の部では「地域のネットワークづくり」、奈良県明日香村国保診療所の武田以知郎先生にご講演いただきました。様々なアイスブレイクを用いながら、多職種で関わる大切さを教えてもらいました。また、奈良県で行われてる取り組みも紹介いただき、大変に参考になりました。

第2部の全員参加型の部では「在宅医療困ったこと、滋賀県みんなで考えよう」、とワールドカフェ形式で、実際に困っていること、経験したこと、うまくいったことなどを様々なテーマのグループに分かれて話し合いました。「ヘルパーさんから現場の情報をたくさん教えてもらい助かっている」や「24時間拘束の医師や訪問看護をいかにして次世代につなげるか」、「介護保険だけでなく、生保、障害の制度もあり、学生のころからも知っておいて欲しい」などの意見が出されました。今後、この意見を元に、多職種で育ちあえる、お互いがキャリアアップ出来る方法を見出して、第2回の研究会を開催していきたいと思ひます。



**[勉強会報告] 第1回兵庫家庭医カンファレンス (10月31日)**

稲岡 雄太 (尼崎医療生協病院/兵庫県尼崎市)

記念すべき第1回の兵庫家庭医カンファレンスが明石市の明石医療センターにて行われました。この会は専攻医が中心となり企画立案・運営を行い、各プログラムの指導医や医師会の先生方にご協力いただき実現することができました。出席者は計24名(専攻医7名)で、開催地である明石医師会の先生方にも多数ご参加いただきました。



まず専攻医がそれぞれの所属するプログラム(赤穂市民病院家庭医療後期研修プログラム、緩和ケアをサブスペシャリティとした神戸・明石・家庭医養成プログラム、医療生協家庭医療学レジデンス・近畿)の紹介を行いました。その後、今回のメイン企画である専攻医によるショーケース・ポートフォリオ発表が行われました。7名とも異なる領域(行動変容、EBM、リハビリテーション、高齢者のケア、女性の健康問題、終末期のケア、プロフェッショナリズム)での発表となり、活発な議論がなされました。発表に対する評価を指導医コメント、質疑応答、評価シートを用いた評価で行い、参加者全員から協力的で建設的なフィードバックをいただくことができました。なかなかつかみにくいポートフォリオに関しての学びが深まるとともに、異なるセッティングで行われている診療から家庭医の多様性に気付くことのできる非常に学び多き会となりました。次回以降に関して、専攻医で会の振り返りを行い、検討していく予定です。

**[支部からのご連絡]**

ブロック支部活動について皆様からのご意見やご提案をお待ちしております!

- (1) **地域支部・グループ研究活動に対する補助**について：近畿ブロック支部では、府県単位の地域支部活動やさまざまなグループ活動を積極的に支援するために、補助を行っています。要項等は前号のニュースレター ([http://www.primary-care.or.jp/shibu/pdf\\_nl/kinki\\_12.pdf](http://www.primary-care.or.jp/shibu/pdf_nl/kinki_12.pdf)) の4ページをご参照願います。
- (2) **府県支部の所属**について：学会会員の 都府県(支部)の所属は、原則「勤務先」の所在地となっております。 ブロック支部事務局に申し出ることにより、移動(又は重複)が可能です。  
学会に登録した連絡先(郵送物が届く住所)以外の府県支部への所属をご希望の方は、近畿ブロック支部事務局までご連絡をお願いいたします。各府県支部からの連絡が確実に届くようにするため、差し支えがなければ、連絡先を「勤務先」にする(変更には学会への届出が必要です)ことをお勧めいたします。今後の府県支部活動の発展のため、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(3) **府県支部からのご案内・連絡窓口及び担当者一覧**

**[滋 賀]** 浅井東診療所 事務局 井関 敏夫 〒526-0203 長浜市野瀬町828番地  
E-mail [jpcashiga@gmail.com](mailto:jpcashiga@gmail.com) Tel. 0749-76-8111 Fax. 0749-76-8118

**[京 都]** 下京西部医師会事務所 京都支部長 小泉俊三  
〒601-8452 京都市南区唐橋堂ノ前町15-9 エステート南ビル3F  
E-mail [simonishi@ishikai.or.jp](mailto:simonishi@ishikai.or.jp) Tel. 075-693-3900 Fax. 075-693-3911

**[大 阪]** 益田診療所 外山 学 〒571-0067 門真市石原町18番15号  
E-mail [toyama@osaka.med.or.jp](mailto:toyama@osaka.med.or.jp) Tel. 06-6901-0231 Fax. 06-6901-8227

3月13日(日)午後第2回総会を計画中です。今回も「一般演題プレイバック発表」を行う予定ですので、筑波学術大会及び奈良近畿地方会での大阪府の会員による一般演題発表で、印象に残ったものをご推薦願います。

**[兵 庫]** (準備中: 仮) 兵庫県医師会 事務局 西田 恵 〒651-8555 神戸市中央区磯上通6-1-11  
E-mail [m.nishida@hyogo.med.or.jp](mailto:m.nishida@hyogo.med.or.jp) Tel. 078-231-4114 Fax. 078-231-8113

**[奈 良]** 奈良医大総合医療学教室 秘書 生駒 佳子 〒634-8522 橿原市四条町840  
E-mail [soushin@naramed-u.ac.jp](mailto:soushin@naramed-u.ac.jp) Tel. 0744-29-8905 Fax. 0744-24-5739